

# 井林

い

ばやし

たつりのり

-通信 第六十三号-

自由民主  
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所:自由民主党本部  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話:東京03 (3581) 6211 (代)

自由民主党  
静岡県第二選挙区支部  
〒426-0037  
藤枝市青木3-13-8  
TEL 054-639-5801  
FAX 054-639-5802



Mail office@t-ibayashi.com  
井林たつりのり国会事務所  
〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館919号室  
TEL 03-3508-7127  
FAX 03-3508-3427

食べ残し減らして無理なくエコを

# 半減へ!

# フードロス



井林たつりのり



## 衆議院議員 井林たつりのり

生年月日 昭和51年7月18日

住所 藤枝市本町

本籍 榛原郡川根本町(お茶農家)

【経歴】京都大学工学部卒業、同大学院環境工学修了

平成14年より国土交通省勤務、平成22年6月退官

平成24年12月初当選(四期目)

平成28年8月環境・内閣府大臣政務官

令和3年11月自民党 財務金融部会長

令和5年9月内閣府副大臣

静岡県サッカー協会中西部支部 会長

【家族】妻・長女・次女

【趣味】野球、水泳【好物】焼魚、白米、お茶



ポスター掲示を  
お願いします。

### 地元の課題を 経済対策に茶業政策を初記載! 国政に反映! ~漁業・施設園芸もシッカリ!~

副大臣として取り纏めた経済対策に漁業・施設園芸・茶業政策を記載しました。特に、経済対策に茶業の記載は初めてです。

内閣府は取り纏め官庁ですので、現場から遠いのですが、私の魂は地元にあります!地元の課題を国政に反映していきます!

【デフレ完全脱却のための総合経済対策】

第2章 経済再生に向けた具体的施策

第1節 物価高から国民生活を守る

1. 物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援

(略) 漁業者や施設園芸事業者・茶事業者が使用する燃料油等については、燃油・配合飼料の価格がそれぞれ一定基準以上に上昇した場合に、漁業者・事業者と国による拠出金から補填金を交付する措置を引き続き講ずる。(略)

### 井林たつりのりのスマイルメッセージ

第1・第3・第5<水曜日> F M 島田 (76.5MHz)

放送; 8:10~ 再放送; 18:35~

ネットでも聞けます (<http://www.icbasimul.com/>)

## ご支援をお願い申し上げます

政治の世界では、壁を乗り越えなければならない時が多くあります。そんな時、お支え頂いている党員の数が政治力です。是非入党して私の政治活動を応援してください。党費は年4,000円(家族党員2,000円)です。今年入党された方は来年の総裁選挙に投票権があり、自由に投票できます! 下記FAX頂くか、電話(054-639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えください。

### FAX 054-639-5802

お名前 \_\_\_\_\_

※入党は個人名のみとなります。

住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL/FAX \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_



令和4年の党員獲得  
優秀表彰を頂きました!

# フードロス半減へ！

～食べ残し減らして無理なくエコを～

## 日本の食品ロスの現状と削減目標！

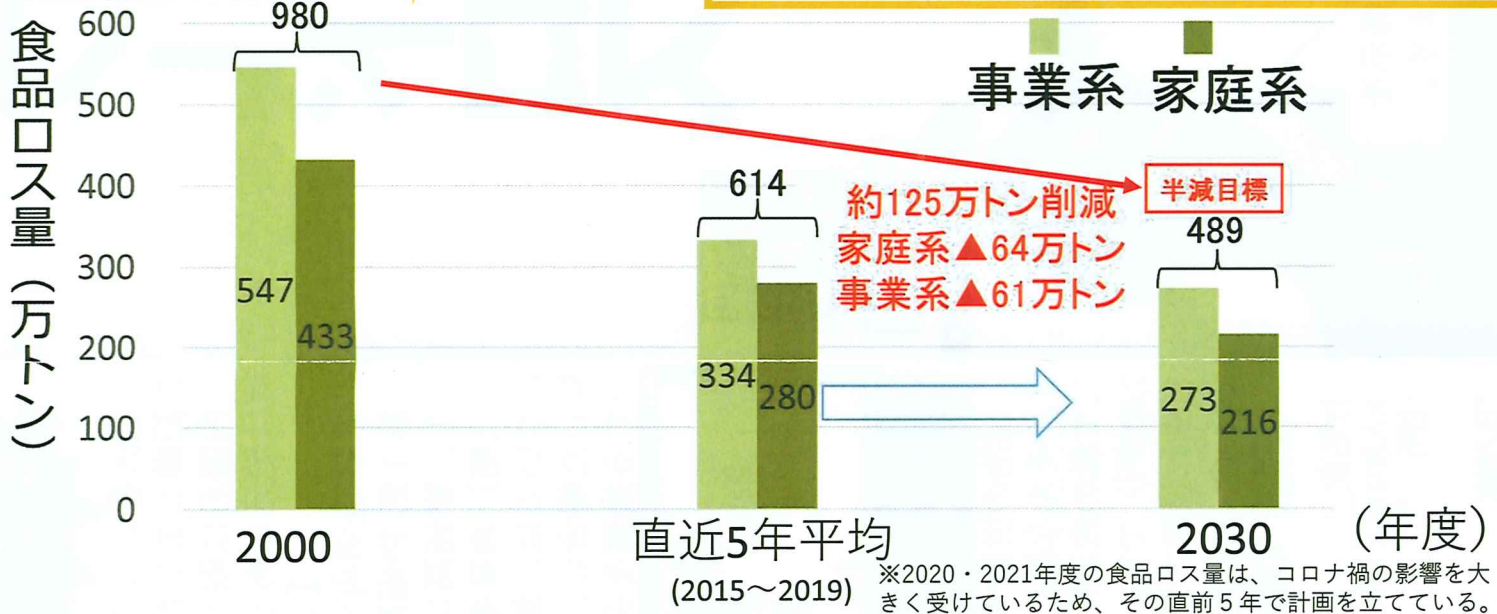
外食や持ち帰りで食べずに捨てられる食品を「食品ロス」と言います（食ロス）。ではどれぐらいの量が捨てられているのか？と言うと、2000年では約980万トン、直近五年平均では614万トン（コロナ禍の影響もあるので平均値をとります）です。

では、この量がどれぐらいの量かと言うと、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量は年間約440万トン（2021年）です。ですので、私たちは、飢餓に苦しむ人々への食糧支援の約1.4倍の食料を、捨てています。



### 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する (つくる責任 つかう責任)

12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。



食品ロスは食糧支援と言う人道支援の観点からも重要な課題であるために、持続可能な開発目標 (SDGs) でも取り上げられ、日本では2000年比で食品ロスを半減する目標を掲げ、家庭と事業とも均等に減少させることを目標にしています。

## 食ロスをライフスタイルに！無理なくエコライフ

目標達成に向けて、政治主導で課題を解決していかなければなりません。内閣府副大臣就任前に自民党食ロス削減PTの事務局長を拝命しました。昨年から先導的取り組みをしている事業者や有識者から話を伺い、法改正を含めた対応をパッケージで決定しました。

### 【家庭系】

- ・賞味期限と消費期限表示の運用改善による食品廃棄抑制 (14万トン)
- ・各地域取り組みの全国展開、食ロスのCO2換算を通じた環境負荷表示、家庭系食ロス量の速やかな計測、徹底した広報によるライフスタイルの変化等 (50万トン)

### 【事業系】

- ・ドギーバック (外食での持ち帰り) 時の食中毒等の責任・運用の明確化 (20万トン)
- ・フードバンク・子ども食堂等への食品提供事業者の責任明確化、フードバンク・子ども食堂の認証制度による能力向上 (24万トン)
- ・食品製造・流通企業のフードロス量の情報開示、1/3ルールの見直しなどの商慣行見直し、食品需要予測高度化による無駄削減等 (17万トン)

環境問題で一番大切なのは、ライフスタイル・商慣行を変えて無理なく自然にエコライフを送ることに重点を置きました。大学で環境工学を学んだ政治家として、ライフワークとして環境問題・食ロス問題に取り組んでまいります！そして、自然に無理なく日本全国をエコライフに！！！！